



第 63 回 東日本学生選手権トラック自転車競技大会



2024年5月4日(土)～5日(日) 長野県松本市 美鈴湖自転車競技場 (周長 333.33m)

主催: 日本学生自転車競技連盟

共催: 公益財団法人日本自転車競技連盟

運営協力: 長野県自転車競技連盟

協賛: 公益財団法人JKA

公益社団法人全国競輪施行者協議会

一般社団法人日本競輪選手会

井上ゴム工業株式会社

株式会社パールイズミ

WIN AND WIN CO., LTD. (WIAWIS)

株式会社JPF

Communiqué No.2-1

2024年4月30日

チーフコミッサー 倉田 達樹

1. 本大会のコミッサーパネルについて

倉田 達樹、岩間 光輝、藤森 信行、森川 和之、古川 利勝 の5名とする。

2. タイム計測種目の計時について

本大会では、タイム計測種目の計時に電子計時を使用予定です。各自の出走順になりましたら、速やかにペダル位置を合わせて、発走担当の役員へ自転車を渡して下さい。また、ウォーミングアップ、クールダウンの走行はインフィールドのみとします。

3. レース出場選手の協力義務について

次の走者は、前のレース終了までには、スタート地点付近にて待機するようにして下さい。著しく遅れた選手、他の選手と同時にスタート位置に付けない選手は、レースから除外します。

4. 招集・バイクチェックについて

●招集は全種目の最初のラウンドのみで行い、この招集はチーム員等の代理でも可とします。バイクチェックは全ての種目の全てのラウンドで行います。選手本人が走る姿(ユニフォーム・ゼッケン・ヘルメット着用、自転車持参)で出走の15分前までに済ませて下さい。バイクチェック後のポジションの変更は一切認められません。なお、ポイントレース・スクラッチの代車についてもバイクチェックが必要です。

コミッサーにより、レース終了後も検車を行うことがあります。事後検査で規則違反が判明した場合、失格を含むペナルティーが課される場合があります。また、「他の大会ではこれで出走許可されている」という主張は認められません。

安全のため、ハンドルバー並びにアタッチメントバーの全ての端面には、バーエンドキャップを装着して下さい。

●「日本学生自転車競技連盟の競技大会において使用する自転車に関する規程」を順守して下さい。

https://jicf.info/hp/wp-content/uploads/2023/04/gakuren_bike_regulation20230405.pdf

【一部抜粋】

4. トラック・レース用機材に関する規程

4-1. ロックリングの設置義務

(後輪ギアの緩みを防ぐロックリングの設置を義務付けます)

4-2. チェーン引き等の設置推奨

(後輪車軸ナットの締付不足時の補助となるチェーン引き、又は同等の機能をもつ装置の設置を推奨します)

4-3. 整備不良が原因である事故時の再発走の制限

(ナットの緩みやチューブラータイヤのリムセメント固定不十分など、整備不良が事故(落車や不正スタート等)の原因であることが明らかな場合、安全上の観点からコミッサーの判断により再発走は認められません)

⇒ スタート時認められる事故(正当な落車・パンク・自転車の重要部分の破損)のみ再スタートが認められます。それ以外のペダル外れ、ホイールの片寄り、スリップなどは認められません。

5. ゼッケン・フレームプレートの取付けについて

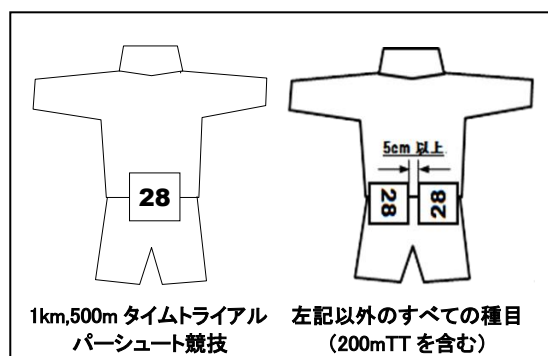
ゼッケンを付ける際の安全ピンや、フレームプレートをつける際の結束バンド等の資材は、各自で用意して下さい。

ゼッケンの各種目における取付け位置は右図の通りとします。

乗車した姿勢で、出来るだけシワがよらない様に装着下さい。

フレームプレートは、前方の左右中央に、落下しない様に確実に取り付けて下さい。大会終了時、フレームプレートのみ回収します。

必ず返却下さい。(※ゼッケンは返却不要です)



この大会は競輪の補助を受けて実施いたします。

<https://www.jka-cycle.jp/>

<https://www.jicf.info/> (公式のレース結果はホームページへ)





第 63 回 東日本学生選手権トラック自転車競技大会



2024年5月4日(土)～5日(日) 長野県松本市 美鈴湖自転車競技場 (周長 333.33m)

主催: 日本学生自転車競技連盟

共催: 公益財団法人日本自転車競技連盟

運営協力: 長野県自転車競技連盟

協賛: 公益財団法人JKA

公益社団法人全国競輪施行者協議会

一般社団法人日本競輪選手会

井上ゴム工業株式会社

株式会社パールイズミ

WIN AND WIN CO., LTD. (WIAWIS)

株式会社JPF

Communique No.2-2

2024年4月30日

チーフコミッセル 倉田 達樹

6. ポイントレースとスクラッチの専用ゼッケン・フレーム・プレートについて

大会受付時に配布するゼッケンとは別に、ポイントレースとスクラッチでは、**専用ゼッケン**(プログラム各種目のページに記載のゼッケン番号)を使用します。予選、決勝の各レース招集時に配布しますので、各レース参加選手は、間違い無ないように付けるようにして下さい。

7. パーシュート種目における走路内のコーチについて

スタートしてそれが正しく行われたと認められたなら、コーチとして1名だけが安全地帯(ブルーバンドより4m)に留まることができるが、軽率な応援身振りなどは一切認められない。

※トラックレベルにチームスタッフが入れるのはパシュートのみに限り、TT種目では立入りが認められなくなりました。

8. バンチレースにおける事故・ニュートラリゼーションへの対応について

●事故等に備えてメカニックなどの特定のチームスタッフとして、各チーム1名と必要な機材をあらかじめウオームアップエリアの走路入り口階段下付近に準備・待機することができる。ただし事故の際にインフィールドに入る際は、コミッセルの許可を受け、その指示に従うこと。

●本大会ではバンチレースにおいて、上記の特定のチームスタッフ1名とは別に、各チーム1名以内のコーチがトラック安全地帯より内側の部分(芝生部分に相当)に滞在して小型トランジスタ・メガホンや小型スピーカまたは黒板やホワイトボード等を使用して自チーム選手への情報伝達を行うことを認める。大声の肉声による指示等は禁止とする。滞在できるのは2コーナーから3コーナーの直線部分に限る。また、競技運営に支障があるとコミッセルが判断した場合、その中止と退去を命じるものとする。

●ニュートラリゼーション適用の際の周回数は、本大会では1250mに最も近い4周以内とする。但し、最後の1km以内には復帰することはできない。

9. 男子スプリント・女子スプリントについて

男子スプリントの1/4決勝は、1回戦制で行う。(男女とも1/2決勝より、2～3回戦の対戦を行う)

10. 男子ケイリンについて

●エントリーが22名のため予選を4組で行い、各組2位上がり。敗者復活戦を4組で行い、各組1位が1/2決勝へ進出する。1/2決勝から各組上位3名が決勝へ、下位3名は7～12位決定戦に進出する。

●デルニーライダー追走時も、違反行為は厳に慎むこと。

11. 男女インディビジュアルパーシュート、男女チームスプリント、男子チームパーシュートについて

●要項の特別規則に記載の通り、各種目とも決勝のみを行う。

●男子チームパーシュートはエントリーが10チームであり、ホーム側からの出走のみ(単独走)で行う。

●男女チームスプリントおよび男子チームパーシュートは、当該競技番組開始1時間前までに出走者リストを大会本部のセクレタリに提出すること。

12. 各種目のホルダー協力について

スプリント、ケイリン、ポイントレースおよびスクラッチ(内側スタート)、チームスプリントおよびチームパーシュート(1番車を除く)のホルダーについては、各チームでホルダーを用意して下さい。

以上



この大会は競輪の補助を受けて実施いたします。

<https://www.jka-cycle.jp/>

<https://www.jicf.info/> (公式のレース結果はホームページへ)

